

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったUBE Advanced Materials Inc.及びAdvanced Electrolyte Technologies LLCは、清算終了したため、特定子会社に該当しないこととなり、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	35,294	170,711	69,878	44,696	320,579	156,044	476,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,557	19,726	884	△6,989	23,178	△23,178	—
計	44,851	190,437	70,762	37,707	343,757	132,866	476,623
セグメント利益 (営業利益)	8,784	17,837	3,204	1,608	31,433	1,409	32,842

(注1) 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額156,044百万円は、セメント事業およびその関連事業等の外部顧客への売上高です。
- (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△23,178百万円には、セメント事業およびその関連事業等のセグメント間の内部売上高又は振替高1,248百万円が含まれております。
- (3) セグメント利益の調整額1,409百万円には、セグメント間取引消去△304百万円、セメント事業およびその関連事業等のセグメント利益3,684百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,971百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	36,053	205,608	68,847	57,886	368,394	—	368,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,351	19,609	456	△7,275	24,141	△24,141	—
計	47,404	225,217	69,303	50,611	392,535	△24,141	368,394
セグメント利益 (営業利益)	8,517	3,278	2,609	1,714	16,118	△3,130	12,988

(注1) セグメント利益の調整額△3,130百万円には、セグメント間取引消去140百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,270百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2022年4月より、セメント事業及びその関連事業等をUBE三菱セメント(株)に承継させたことを受け、新中期経営計画「UBE Vision 2030 Transformation～1st Stage～」においてセグメントを見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「化学」「建設資材」「機械」「その他」の4区分から、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

また、従来「建設資材」セグメントに含めていたセメント事業及びその関連事業等については、当第3四半期連結累計期間の売上高およびセグメント利益（営業利益）の計上はありません。これは、同事業を承継させたUBE三菱セメント(株)が当社の持分法適用会社であることによるもので、当第3四半期連結累計期間においては、同事業に係る持分法による投資損失15,786百万円（営業外費用）が計上されています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、(株)エーピーアイコーポレーションの株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんを445百万円計上しております。なお、当該金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。